

図書館だより

秋田大学附属図書館
年3回刊行(4月・9月・12月)



眞澄の道を辿って3 「蛙岩」^{かえる}。眞澄の図版とほぼ同じ姿で、101号線脇(八森町の手前)に現存している。小さい祠がある。^{ほこら}
...人にとへば畔神といひ、黒尊佛といひ、はた馬の神ともいふ... (雪乃道奥、雪の出羽路より)
秋田大学名誉教授 山本穆彦氏：画

目次

- | | | |
|----------------|-----------------|------|
| 2 | 新入生の皆さんへ | 三浦 傳 |
| 3 | 学問の楽しさを知るために | 澤田 雅 |
| 4 | シリーズ 心に残る一冊(16) | 阿部 昇 |
| トピックス | | |
| 医学部分館日曜・祝日開館開始 | | |
| 「留学生コーナー」が名称変更 | | |
| 本館に利用者用PC、 | | |
| グループ学習室増設 | | |

- | | |
|--------|--|
| 5 ~ 12 | 新入生のための図書館利用案内
附属図書館(本館)案内
医学部分館案内 |
| 13 | 図書館でのコピーと著作権法 |
| 14 | 医学部分館コーナー |
| 15 | 開館カレンダー |
| 16 | 掲示板 |

新入生の皆さんへ

附属図書館長 三 浦 傳



新しく入学された皆さん、
おめでとうございます。心
からお祝い申し上げます。

ここ秋田の地は喜びに満
ち溢れる春を迎え、やがて
満開の桜が皆さんを歓迎し

てくれます。近くでは千秋公園の染井吉野や、全国的に知られる角館町の桜木内川土手の桜のトンネルと枝垂れ桜がありますが、南は金浦公園から北はきみまち坂まで全県にわたって素晴らしい桜の名所があり、5月の連休明けまで十分に楽しむことができます。まさに門出にふさわしく、心の内も外も沸き上がり力に満ち満ちた季節です。学問はもちろんのこと、交友に、各種クラブをはじめボランティア活動や他大学との交流など、大学の内外を問わずあらゆることを積極的に楽しみ、吸収し、大いに学生生活を味わってください。

大学という新しいスタートラインに立った皆さんのこれからは、自ら積極的に学び、得られたものを十分に吟味して己のものとし、発展させ、さらに展開させる、あらゆる面に主体性をもって開拓し邁進する生活に入ることになります。そのなかに図書館もプログラミングしてください。

図書館とは、自分に必要な分野を検索するだけに存在するのではなく、様々な分野の知識をそれぞれのニーズに合わせて得、発展させることができる格

好の場なのです。難く考えずに、まずはのぞきにくることをお勧めします。1階のブラウジングコーナーには新聞や雑誌類がありますし、2階の視聴覚室では図書館備付のCDやLDなどもあり、疲れを癒し充電するには格好の場所です。

本学図書館は規模は小柄ながら、皆さんのご要望に可能な限り答え充実させるべく努力しています。昨年度から、図書館が提供する情報の有効活用をねらった情報リテラシー教育を教養基礎教育の選択科目として開講しています。演習中心であり、レポートや卒論作成にも大いに役立っています。さらに、学内外を問わず門戸を開くなど、誰もが自由に活用できるようになっており、あらゆる意味で開かれた図書館にすべく努めています。

図書館を積極的に利用され、図書館での時間を大切にしてください。改善すべきところは大小にかかわらず随時指摘してくれることを願っています。

皆さんが自己を高め社会に貢献できる素晴らしい人生を創りだすために、これから過ごされる大学生活を通じて自ら確固たる土台を築かれんことを心から願うとともに、図書館もその一助となれば望外の幸せです。

(みうら まもる

医学部内科学第二講座教授)

学問の楽しさを知るために

学生部長 澤 田 雅



3月20日に卒業式が行われました。4年間あるいは6年間で精神的にも肉体的にもたくましく成長し、自信を持って社会へ巣立つ卒業生、修了生諸君を見送る

とき幸せを感じると同時に別れの寂しさもすこし感じます。しかし、今日からは若さあふれるフレッシュな新入生の皆さんを迎え、キャンパスは再びにぎやかさを取り戻すことと楽しみにしています。

皆さんはいま未知の学問分野に踏み入る期待と好奇心で胸一杯のことと思いますが、しばらくすると講義が高校の授業の延長に過ぎないと失望して講義から遠ざかる人や、難しくてついていけないと投げ出してしまふ人も出てくるのではと心配しています。

最近高校のカリキュラムが多様化しており、入学当初の皆さんの理解度がまちまちであることがその原因の一つです。我々教官は全員が勉学意欲を持てるように講義の導入部には特に注意を払っていますが、講義はテレビの娯楽番組とは異なり、理解するためにはある程度の努力が必要です。趣味のギター演奏やスキー等のスポーツにしても最初から楽しいと感じた人はほとんどないはずです。しかし、好きな曲を演奏している自分や雪山をさっそうと滑る自分をイメージして努力をしたと思います。学問も同じです。学問を楽しみと思えるようになるにもや

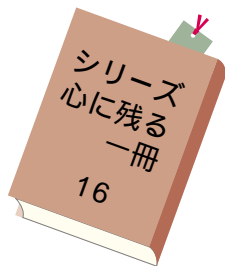
はり努力が必要です。はじめは講義について行くのが少しつらい人もいるかもしれませんが、あきらめないで理解するように努力をして欲しいと思います。また余裕のある人は講義を十分味わって聴いて下さい。単なる高校の授業の復習でなく、高度な専門知識への入口であることに気づき、より一層興味が深まると思います。

いま皆さんは、きびしい受験戦争から開放されて一息ついておられると想像しますが、次の目標に向かって、日々ほんの少しでも良いので机に向かう習慣を持続して下さい。自宅や寮やアパートでは無理という人には、図書館がすばらしい環境を提供してくれています。秋田大学の図書館には、皆さんが自習するのに適切なレベルの参考図書を毎年各講義の担当教官に選定してもらって購入しています。学問の宝庫である図書館の活用を通して学問する楽しさを体験し、充実した学生生活を送られることを期待しています。

(さわだ ただし

工学資源学部機械工学科教授)





心的外傷と回復

ジュディス・L・ハーマン 著 中井久夫 訳
みすず書房 1996年 6000円



阿 部 昇

トラウマ(PTSD)について書かれた本である。
トラウマの研究が社会的・政治的に避けられてきた歴史から始まり、戦争・児童虐待・レイプ等によってトラウマを発症した人々(「生存者」と訳される)の事例検討、そしてその回復への道筋を示している。

トラウマというと自分たちとは関係ないという印象をもつかもしいないが、教育における教師と子どもの関係・子ども相互の関係、親子関係、男女の関係、その他の社会的人間関係等。現代社会が抱える問題性が、トラウマの分析・検討を通じて鮮やかに浮かび上がってくる。たとえば、加害者が被害者に行っていく「奴隷化」の過程は、学校での子どもたちのイジメの在り方とほぼ重なる。

この本で最も印象的なのは、その回復の道筋のダイナミズムである。ハーマンは「心的外傷体験の核

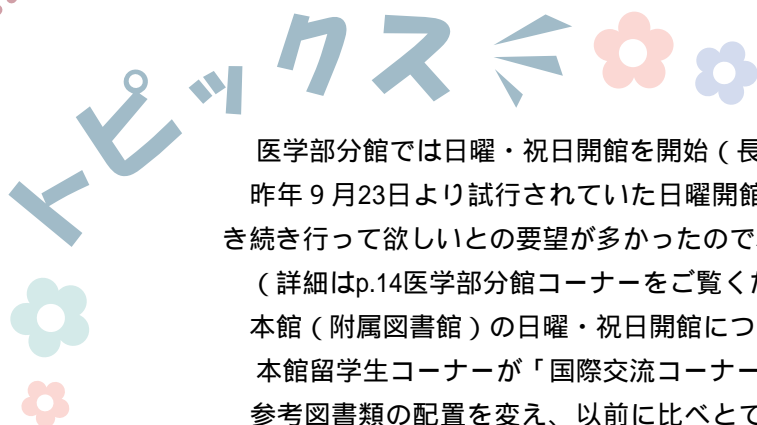
心は孤立(isolation)と無援(helplessness)である。回復体験の核心は有力化(empowerment)と再結合(reconnection)である。」と述べる。生存者に「力を与え」生存者自身が自らを治療する。そして「恐怖に積極的に立ち向かい」、「他者と再結合」し「連帯」していく...といった回復の過程を具体的に示す。

大部であり専門用語も使われていて、一見すると読みにくそうな本だが、読み出すとぐいぐいと引き込まれていく。教育専攻の学生はもちろん、医学・工学専攻の学生にも読んでほしい本である。

(あべ のぼる

教育文化学部教科教育学講座助教授)

この本はただ今、注文中です。



医学部分館では日曜・祝日開館を開始(長期休業期間は除く)

昨年9月23日より試行されていた日曜開館期間中、アンケートを実施したところ引き続き行って欲しいとの要望が多かったので、13年度も行うことにしました。

(詳細はp.14医学部分館コーナーをご覧ください。)

本館(附属図書館)の日曜・祝日開館については今秋の実施を目途に検討中です。

本館留学生コーナーが「国際交流コーナー」と名称変更

参考図書類の配置を変え、以前に比べてとても明るく広々としたコーナーになりました。互いに国際交流のできる場所として整備していく予定ですので大いに活用してください。

本館に利用者用パソコン4台設置

場所は1階OPACコーナーの手前です。

インターネットはもちろん使えますが、文献検索用CD-ROMも一部使えるようにしましたのでご利用ください。

本館グループ学習室が2部屋に増えました。



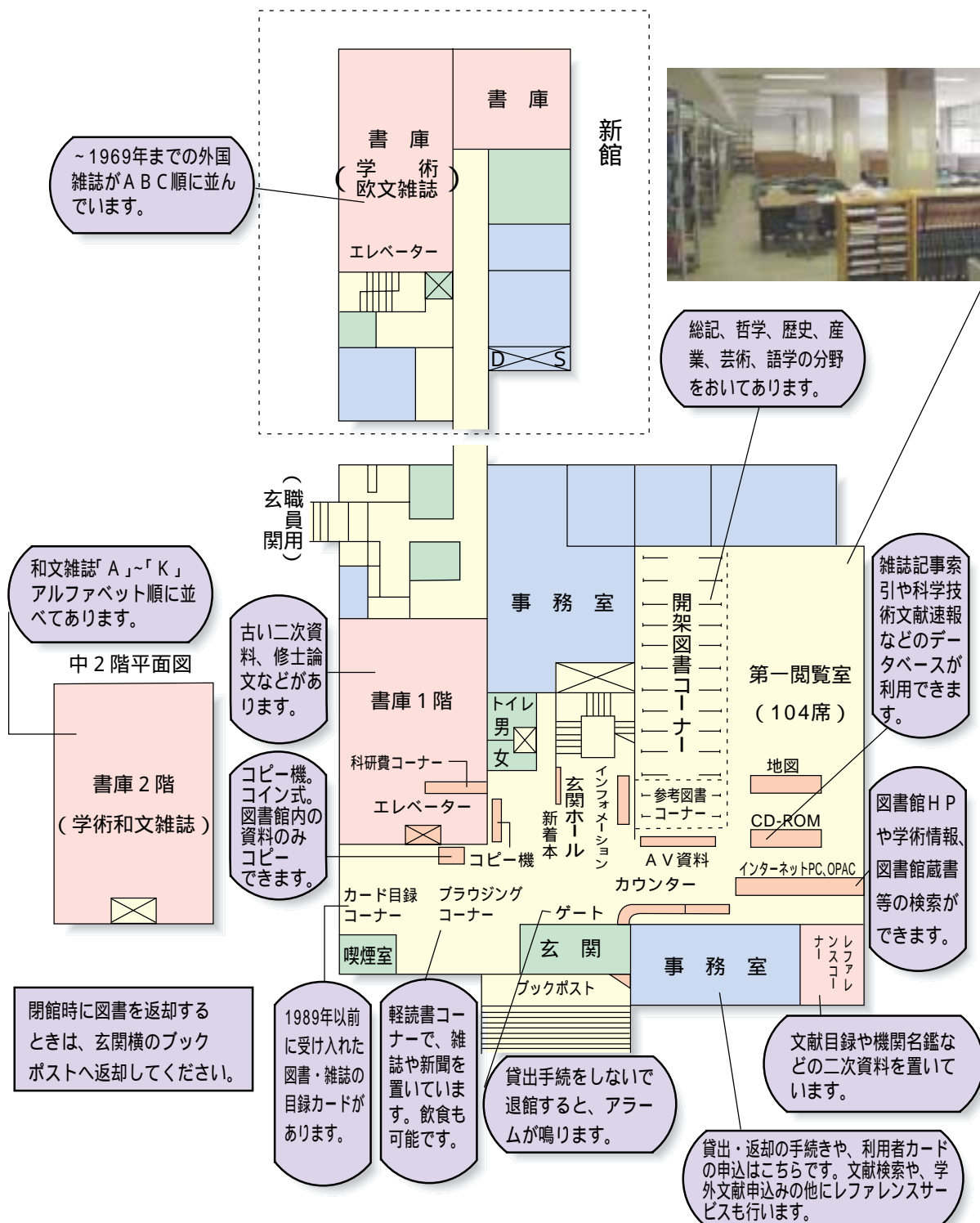
新入生のための図書館利用案内

開 館 時 間	<ul style="list-style-type: none"> ・月曜日～金曜日 8:45～20:00 ・土曜日 9:00～17:00 <p>ただし、春・夏・冬期休業中は</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月曜日～金曜日 8:45～17:00 ・土曜日 休 館
休 館 日	日曜日・国民の祝日・本学創立記念日（6月1日）・年末年始（12月28日～1月4日） 臨時休館する場合は、その都度お知らせします。
利用者カード	図書の館外貸出を受ける場合には「学生証」又は「利用者カード」が必要です。カウンターで申し込んでください。この「利用者カード」は医学部分館でも利用できます。
館 外 貸 出	図書を借りるときは、図書と、「学生証」又は「利用者カード」をカウンターに提出してください。
返 却	借用した図書は、返却期限日までにカウンターへ返してください。 閉館時は玄関の返却用ポスト（ブックポスト）へ返してください。 返すのが遅れると遅れた日数分貸出停止になりますので、注意してください。
貸 出 冊 数	3冊以内 春・夏・冬期期間中は5冊以内
貸 出 期 間	2週間以内（医学部分館の図書は10日以内） 春・夏・冬期休業中は貸出期間が延長できます。 期日については館内掲示板「INFORMATION」でお知らせします。
予 約	貸出中の図書の予約ができます。予約すると返却後優先して利用できます。 「学生証」又は「利用者カード」を持参し、カウンターで予約してください。
更 新	使用中の図書を継続して借りたい時は、返却期日までに図書と「学生証」又は「利用者カード」を持参し、カウンターで更新手続きをして下さい。予約がなければ更新できます。
A V 資 料	A V 資料は、C D、L D、ビデオ等をカウンターの向かいに備え付けてあります。 利用の際は「学生証」又は「利用者カード」が必要です。
国際交流コーナー	留学生が日本語や日本文化、風俗、習慣を理解するのに手助けとなる図書、ビデオ、カセットテープを備え付けています。
図 書 ラ ベ ル	<p>図書の背表紙には左記、下図の「図書ラベル」が貼ってあります。</p> <p>ラベルの一段目には「分類番号」007、2段目には「著者記号」J 66、3段目には「巻冊番号」v.1 が記入されます。</p> <p>図書は「図書ラベル」の請求記号順に書架へ配架されています。</p> <p>「請求記号」は「分類番号」「著者記号」「巻冊番号」からなります。</p> <p>「分類番号」...図書の内容を記号化したもので 007 は「情報科学」に関する図書であることを表しています。「分類番号」は日本十進分類法 NDC により付与されます。</p> <p>「著者記号」...図書の著者名及び図書名を記号化したもの。</p> <p>「巻冊番号」...図書に巻号がついている場合に記入します。</p>

詳細は、図書館利用案内・附属図書館ホームページ（<http://www.akita-u.ac.jp/ktakalib/>）をご覧ください。利用方法等について不明な点がございましたら、カウンターにお問い合わせください。

附属図書館案内

1 階平面図



- 開架図書.....総記、哲学、歴史、産業、芸術、語学、文学
- 参考図書コーナー.....参考図書 (辞典、辞書、図鑑、年鑑等)
- ブラウジングルーム.....各種新聞、雑誌等
- レファレンスコーナー.....参考図書 (書誌、目録、索引等)

附属図書館ホームページ



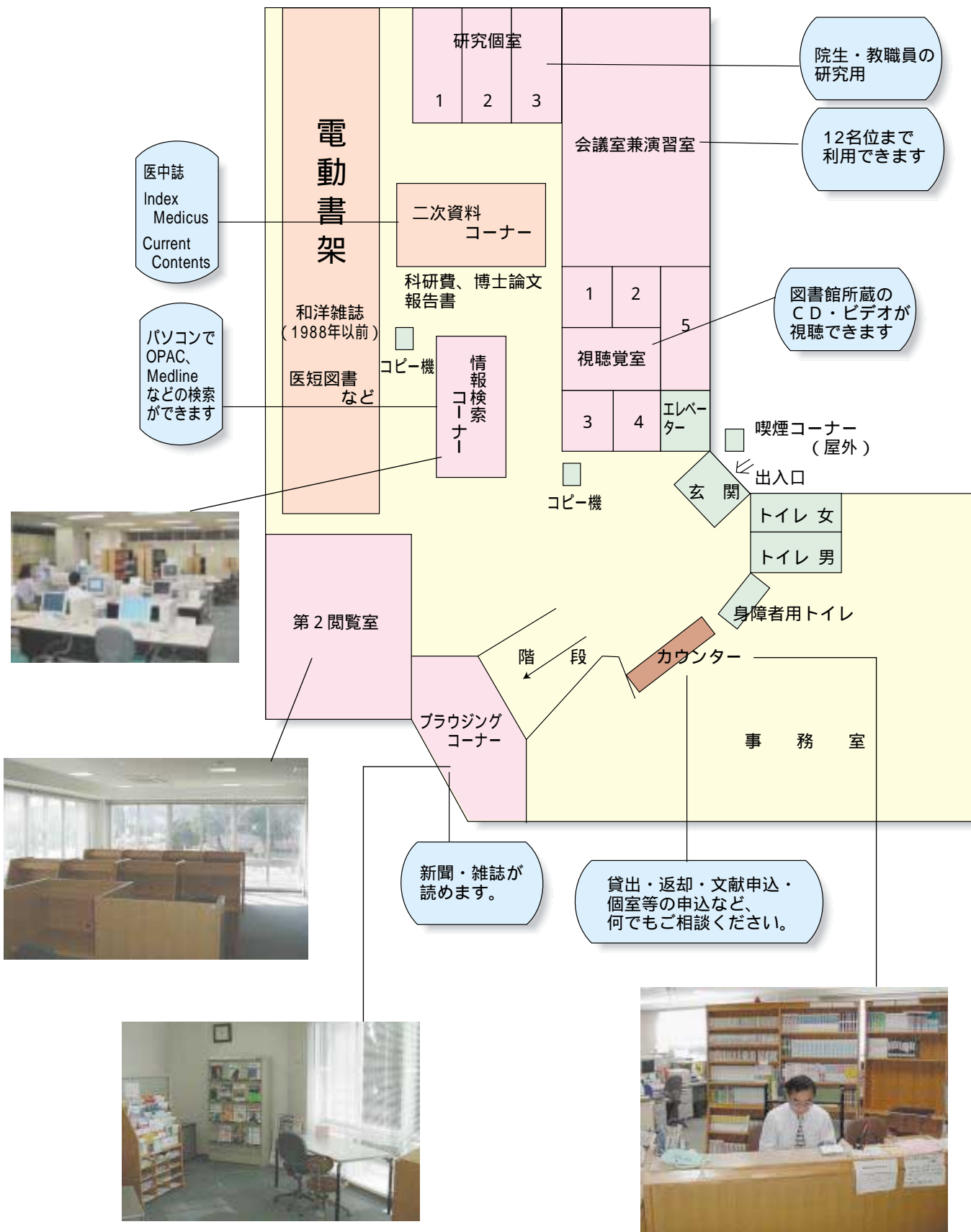
医学部分館利用案内

開館時間	<ul style="list-style-type: none"> ・月曜日～金曜日 8:45～20:00 ・土・日曜、祝日 9:00～17:00 <p>ただし、春・夏・冬期休業中は</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月曜日～金曜日 8:45～17:00 ・土・日曜、祝日 休館 				
休館日	<p>本学創立記念日（6月1日）・年末年始（12月28日～1月4日）</p> <p>臨時休館する場合は、その都度お知らせします。</p>				
利用者カード	<p>図書の館外貸出を受ける場合には「学生証」又は「利用者カード」が必要です。カウンターで申し込んでください。この「利用者カード」は本館でも利用できます。</p>				
館外貸出	<p>図書を借りるときは、図書と、「学生証」又は「利用者カード」をカウンターに提出してください。</p>				
返却	<p>借用した図書は、返却期限日までにカウンターへ返してください。</p> <p>閉館時は玄関の返却用ポスト（ブックポスト）へ返してください。</p> <p>返すのが遅れると遅れた日数分貸出停止になりますので、注意してください。</p>				
貸出冊数	<table> <tr> <td>院生・研究生</td><td>5冊以内（製本済雑誌を含む）</td></tr> <tr> <td>学部学生</td><td>2冊以内（図書のみ）</td></tr> </table>	院生・研究生	5冊以内（製本済雑誌を含む）	学部学生	2冊以内（図書のみ）
院生・研究生	5冊以内（製本済雑誌を含む）				
学部学生	2冊以内（図書のみ）				
貸出期間	<table> <tr> <td>院生・研究生</td><td>図書 10日以内、雑誌 7日以内</td></tr> <tr> <td>学部学生</td><td>図書 10日以内</td></tr> </table>	院生・研究生	図書 10日以内、雑誌 7日以内	学部学生	図書 10日以内
院生・研究生	図書 10日以内、雑誌 7日以内				
学部学生	図書 10日以内				
予約	<p>貸出中の図書の予約ができます。予約すると返却後優先して利用できます。</p> <p>「学生証」又は「利用者カード」を持参し、カウンターで予約してください。</p>				
更新	<p>使用中の図書を継続して借りたい時は、返却期日までに図書と「学生証」又は「利用者カード」を持参し、カウンターで更新手続きをして下さい。予約がなければ更新できます。</p>				
A V 資料	<p>A V 資料を利用したい時はカウンターに申し出てください。</p> <p>利用の際は「学生証」又は「利用者カード」が必要です。</p>				
図書ラベル	<p>図書の背表紙には左記、下図の「図書ラベル」が貼ってあります。</p> <p>ラベルの一段目には「分類記号」WS 100、2段目には「著者記号」SH 57、3段目には「巻冊番号」(v.1) が記入されます。</p> <p>図書は「図書ラベル」の請求記号順に書架へ配架されています。</p> <p>「請求記号」は「分類記号」「著者記号」「巻冊番号」からなります。</p> <p>「分類記号」...図書の内容を記号化したもので WS 100 は「小児科学」に関する図書であることを表しています。「分類記号」は医学関係は米国国立医学図書館分類法【NLM】により、その他は日本十進分類法【NDC】により付与されます。</p> <p>「著者記号」...図書の著者名又は図書名を記号化したもの。</p> <p>「巻冊番号」...図書に巻号がついている場合に記入します。</p> <div> <div>WS 100</div> <div>SH 57</div> <div>(v.1)</div> </div>				

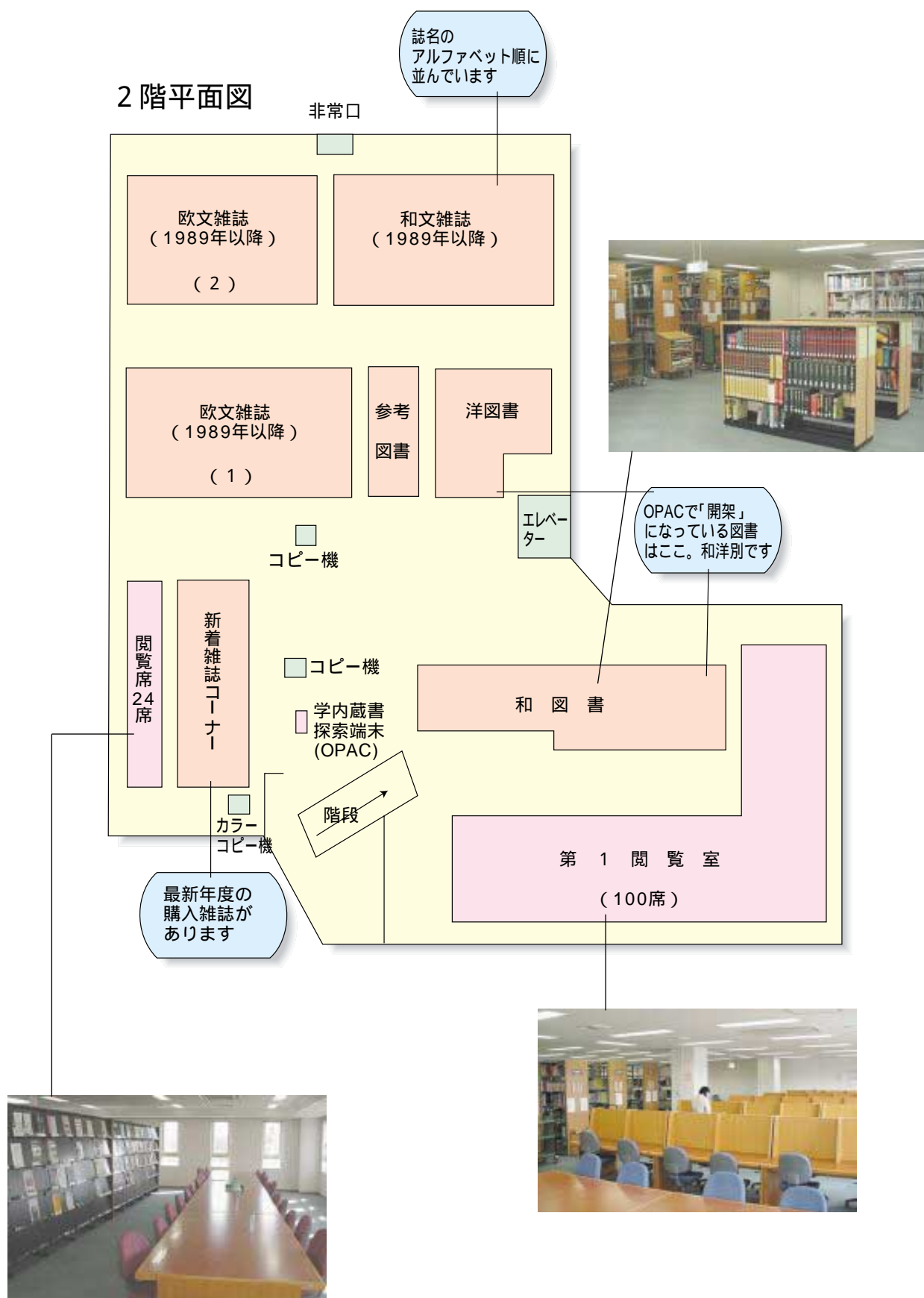
詳細は、図書館利用案内・医学部分館ホームページ（<http://libra.med.akita-u.ac.jp/>）をご覧ください。利用方法等について不明な点がございましたら、カウンターにお問い合わせください。

医学部分館案内

1 階平面図



2 階平面図



● 估價標準(估價說明書)

図書館でのコピーと著作権法

学生のとしこさんと図書館員の会話から...



この図書をコピーしたいんですけど？



コピー機は1階にありますよ。コピーする前に「文献複写申込書」に記入してくださいね。



コンビニでコピーするときは申込書なんていらないのに、どうして？



図書館の図書や雑誌は「著作物」ですから著作権者の権利を守るために、勝手にコピーしていけないことになっているんですよ。そのことは「著作権法」に規定されています。



じゃあ、図書はコピーしてはいけないの？



著作権法には例外規定というのがあって、その要件を満たした場合はコピーしてもいいんですよ。図書館でのコピーも31条で例外として認められています。



あ、それなら、いいんですね。



ただ、細かい規定があるので、これを守ってくださいね。



細かい規定って？



まず、コピーできるのはページ数にして半分以上。100ページの図書なら50ページ以内



ふーん。



ちゃんと規定を守ってコピーしているかどうか、図書館はチェックしなくてはならないので、「文献複写申込書」を書いていただいているんです。



はあ...。でも講義のノートをコピーするときも申込書を書くんですか？



ノートのコピーはちょっと...。図書館のコピー機は蔵書をコピーするために設置を認められているので、それ以外のものはコピーしてはいけないことになっているんですよ。



いろいろ制約があるんですねえ。



不自由はありますが、著作権者の権利を守ることは大切ですから。



確かにそうですね。

著作権法についてもっと知りたい方は下記の図書をご覧ください。すべて本館1F開架にあります。[]内は図書ラベルの番号です。詳しくはp.5をご覧ください。

半田正夫 「著作権法概説」一粒社 [021.2-H29]

千野直邦 他「著作権法の解説」一橋出版 [021.2-C47]

著作権法令研究会「著作権法ハンドブック」著作権情報センター [021.2-C54]

加戸守行「著作権法逐条講義」著作権情報センター [021.2-Ka86]

著作権法令研究会「著作権法入門」著作権情報センター [021.2-B89]

日本図書館協会著作権問題委員会「図書館サービスと著作権」日本図書館協会 [021.2-N71]

医学部分館コーナー

日曜・祝日開館を行います

昨年9月23日より試行されていた日曜開館は3月11日で終了いたしました。利用者は延べ6,873人で、一日平均222人でした。これは11年度土曜開館とほぼ同程度の利用者数です。

期間中、アンケートを実施したところ引き続き行って欲しいとの要望が多かったので、13年度も4月8日から行うことにしました。

なお、長期休業期間中は土曜日と同様に休館です。

インターネット専用パソコンが設置されました

情報検索コーナーに2台設置されました。開館時間内、自由に使うことができます。プリンタはついていませんので、データの必要な方はフロッピーをご持参ください。

コイン式私費コピー機が新設されます

4月より、学生の皆さんよりご要望の多かったコイン式の私費コピー機が1台設置されます。設置場所は1階で、今までのカード式私費コピー機も1階に移されます。

図書館でのコピーは「著作権法」に則して行わなければなりませんので、コピーの際には「文献複写申込書」に記入してください。著作権法については13ページに詳しく解説していますのでご覧ください。



図書館カレンダー

(April - July 2001)

休 館
平常開館時間 8:45 ~ 20:00

休暇開館時間 8:45 ~ 17:00
土曜開館時間 9:00 ~ 17:00

本 館

分 館

APRIL

SUN	MON	THE	WED	THU	FRI	SAT
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

APRIL

SUN	MON	THE	WED	THU	FRI	SAT
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

MAY

SUN	MON	THE	WED	THU	FRI	SAT
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

MAY

SUN	MON	THE	WED	THU	FRI	SAT
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

JUNE

SUN	MON	THE	WED	THU	FRI	SAT
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

JUNE

SUN	MON	THE	WED	THU	FRI	SAT
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

JULY

SUN	MON	THE	WED	THU	FRI	SAT
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

JULY

SUN	MON	THE	WED	THU	FRI	SAT
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

本が嫌いなもの

- ・ 火 (焼ける・焦げる) → **全館禁煙**です (本館は喫煙室で)
- ・ 水 (濡れる・カビる)
- ・ 虫 (ゴキブリやダニなど) } → **ブラウジングコーナー以外**
- ・ ウルサイ人 → **飲食禁止**です
- **携帯はOFFに**

掲 示 板

学生証が図書館の「利用者カード」を兼ねることになりました

- ・学部学生、大学院生、専攻科生は学生証で図書館を利用できます。
- ・上記以外の方はカウンターに申込んで「利用者カード」の発行を受けてください。
- ・医療技術短期大学部の学生は「利用者カード」が必要です。医学部分館に申込んでください。
- ・学生証や「利用者カード」は本館・医学部分館のどちらでも使用でき、図書の借用、視聴覚資料やグループ学習室を利用する時に必要です。

今年度も情報リテラシー教育を開講します

- ・前期は4月11日から毎週水曜日の5・6時限目です。詳細は教養基礎教育授業計画（シラバス）をご覧ください。

2001年新規購入、中止雑誌リストは附属図書館ホームページでどうぞ

本館 <http://www.akita-u.ac.jp/ktakalib/kokunai2001ad.htm>

分館 <http://libra.med.akita-u.ac.jp/journal.html>

No.49に誤字がありましたので訂正して、お詫びいたします。大変ご迷惑おかけいたしました。

- ・ P 8 「本学教官等著作寄贈図書」の2冊目
(誤) 青年身上監護制度論 (正) 成年身上監護制度論
- ・ P .9 右6行目 (誤) ...poweer (正) ...power

編集後記

新入生の皆さん ご入学おめでとうございます。新しい季節が始まりました。未来への扉が開けられました。扉の向こうには大きな可能性が、夢が待っています。

どうぞ、今日の胸の高ぶりを忘れず、諦めることなく、焦ることなく歩いてください。

図書館は、何時でもそんなあなたのお手伝いをしたいと思います。ご来館をお待ちしています。



図書館だより 第50号 2001年4月1日発行

編集 秋田大学附属図書館出版物編集委員会

発行 〒010-8502 秋田市手形学園町1-1

TEL 本館018-889-2279 分館018-884-6052

FAX 本館018-832-4917 分館018-884-6252

附属図書館ホームページ

<http://www.akita-u.ac.jp/ktakalib/>

医学部分館ホームページ

<http://libra.med.akita-u.ac.jp/>